

吉野の過去と今

そして未来を

考えよう

緊急時の連絡先

- 本山町役場
76-2113
- 嶺北消防署
76-2806
- 本山警察庁舎
76-0110
- 吉野公民館
82-0452
- 寺家公民館
82-0837
- 吉野小学校
70-1311

昔 雨がふるたびに石が落ちてきていたが工事が終わらないうへさかのでたので落ちてこなくなった。

浄水場 汗見川対岸にようへさかのでたので川が増水してきて家まで水かかると危険性が減った。

赤土じゃなくなったため雨水がしみこまず下まで流れ出るようになった。今ある水路では排水がまにあわないので水路を増やしてほしい。

赤茶色になっている
三倉神社の手水舎は水源がでできるまでは清水だったが今はにごっている。

昔 年月が経ち壁にひびが入っていたけれど新しい壁ができたので安心して通れるようになりました。

下から見る...
ちやうれいとの階段横の道で雨水がしみこみかけ崩れがおこって道がおちているので注意が必要だよ。

公民館の入口付近には、感染症対策として消毒液やマスク、体温計などが設置されていた。また避難できる人数を調べてみるよ。

	1F和室	2F707	合計
通常時	12人	28人	40人
感染症対策時	8人	11人	20人

とあって、現在は通常時よりも約半数の人が避難できていない可能性がある。



浄水場の道がアスファルトに変わると大量の雨水がながれてくるので下の民家や畑に被害が出てくる。

防災倉庫の中には発電機や車いすスコップなどがありました。また、公民館の中には、食料も備蓄されているので数日は安心して過ごせます。

昔 2年前落石が降り危険だったのが工事が行われ安全に渡れるようになった。

消防道が壊れたら危険なので早く工事してほしい。

街灯がなく見通しが悪いので街灯をつけてほしい。



マークの紹介

街灯あり	排水管・ホース	神社	ガードレールなし
LED街灯あり	防災倉庫	坂道	段差・階段

- 赤線 避難経路として安全な道
- 黄線 避難経路するとき注意が必要な道
- 青線 避難経路するとき困難な道

昔 昔は橋がくなくもくごいがひびがいてらんかんまで水がきていたけど吉野橋が撤去され歩道橋ができて安全にわたれるようになった。

防災マップ作りを終えて～私たちの願い～

私たちの今年のテーマは、吉野地区の過去と今を見比べ、これからの未来を考えてもらうことです。学校へ上がる坂のよう壁や運動場のフェンス、汗見川のような壁などこれまでに先輩方が地域や本山町、高知県へ提言要望をし改善されたものが吉野地区にはたくさんあります。今回はそのような点を念頭に過去の大雨などによる自然災害から学んだことをどう活かしているのかをもう一度確認することで、防災に強い吉野地区になってもらいたいと考えたからです。今回のフィールドワークで、浄水場の道がアスファルトになったことによる被害が明らかになってきたことがわかりました。階段横道の崩壊や下の民家への大量の雨水の流出など、とても危険です。排水溝を増やすなどの対策をお願いします。また、吉野小学校下の道路には、街灯がひとつもなく、夜には歩行者などに気づきにくく危険なので、ぜひ街灯を設置してほしいです。それに合わせ、学校下の消防道も崩れかけたままなので、早く工事をお願いします。先輩たちの提言により、改善された箇所もたくさんありますが、防災に強い吉野地区の未来に向けて、吉野地区の皆さんにもう一度地域の状況を再確認してほしいと思います。